

家庭学習(宿題+自主学習)の約束



須賀川市立第二中学校

学習の環境を整える

学習時間になったら、テレビは消し、ながら勉強はしないこと。
あらかじめ机の上をかたづけおき、勉強のじゃまになるものは視界に入れないようにすること。
辞書や地図帳などを手元に置き、分からないことやあいまいなことは、必ず調べる習慣をつけよう。

決まった時間に学習を始める

家に帰ってすぐ取りかかるのが理想的。夕食の時間など生活のリズムを考えて家庭学習を始める時刻を決め、いつも決まった場所で学習すること。
「毎日、何をどれだけ学習する」など目標を具体化させよう。

まずは宿題から。宿題が終わったら、復習や予習をする

特に復習を中心に、その日習った内容を、教科書や授業のノートを開いて再確認しながら、自主学習ノートにまとめよう。
ワークの問題を繰り返しノートに解いてみるのも効果的です。

学習時間の目標(家庭学習のめやす)

【平日】	1 学年:1 時間 30 分	【休日】	1 学年:2 時間 30 分
	2 学年:1 時間 30 分~2 時間		2 学年:2 時間 30 分~3 時間
	3 学年:2 時間~3 時間+		3 学年:3 時間~4 時間+

読書、新聞・ニュースに親しむ

本を読む楽しさを味わい、読書習慣を身につけよう。
新聞記事やニュースなどを家庭での話題にして、社会への関心を広げよう。

限られた時間を有効に使って

テレビやゲームの時間ではなく、家庭学習の時間を優先して時間をコントロールしよう。遊びたい気持ちをがまんすることが大切です。



この手引きは、小・中一貫教育の取り組みとして作成しました。

国語



1 復習

ノートを見て、その日の授業の振り返りをする。

ワークの問題を解く。(答えを見ても理解できない時は、翌日先生に質問する)

漢字テストで間違えた漢字を徹底的に書いて覚える。

単元テスト(プリント)で間違えた問題をやり直す。(解答や解説を見ても理解できない時は先生に質問する)

2 予習

漢字テストの前には、範囲内の全ての漢字の読み書きができるまで練習する。

最後は、小テストのようなものを自分で作り、そこに間違えた漢字を書けるようになるまで学習する。

3 その他

読書に親しむ。

漢字検定の取得に向けて学習する。

生活ノートの毎日の記録をしっかり文章で記入する。



数学



1 復習

授業があった日は必ず、その日の内容のワークを解くようにする。

授業でやった問題をもう一度解くようにする。

必ず繰り返し、同じ内容を学習するようにする。

2 予習

特別な予習は必要ないので、復習に時間を費やすこと。

理科

1 復習

その日学習したところの教科書を読み直す。

ノート、プリントを見直し、復習ノートに整理して書く。(大切な部分は色分けしたり、切り貼りして付け加えをする)

疑問点や理解できないことは、後で質問できるようにノートに書き出しておく。

2 予習

授業の前日に

教科書を読み、大切なところを書き出す。
分からないところは参考書などで調べるようにする。

観察・実験の前日に

教科書の観察・実験の方法を読んで覚える。



英語



1 復習

宿題...まずこれを最優先。

教科書本文の音読...内容を思い浮かべながら大きな声で読む。

単語・基本文練習...ノートにできるだけたくさん書いて覚える。

練習後は必ず自分でテストして、見ないで書けるかチェックする。

要点まとめ...板書(黒板に書いてあること)やワークの「要点まとめ」の部分を参考に自分の弱点を強化する。(特にテスト前は有効)

ワーク...いろいろな問題に挑戦する。

2 予習

ノートづくり...新出単語を写す 意味調べ
本文を写す 本文の内容を自分なりに訳す

社会



1 復習

その日の授業の内容をノートで確認する。
理解が深まるよう、地図帳や資料集でも確認する。

学習した範囲のワーク整理を行う。
重要語句を漢字で書けるように練習する。

2 予習

教科書を読んで、太字の語句や自分が大事だと思ふところにアンダーラインを引く。
アンダーラインを引いた箇所を自分で調べ、ノートにまとめることができるようにする。